

全L協保安28第80号
平成28年12月28日

正 会 員 各 位

(一社) 全国LPガス協会

東京瓦斯(株)による「空気抜き孔付き機器接続ガス栓」による
ガス漏えい事象の再発防止について (お願い)

標記につきまして、経産省より別添のとおり周知徹底の依頼がありました。

本件は、システムキッチンのキャビネット内部に設置された「空気抜き孔付き機器接続ガス栓」のビスが抜け落ちにより微少なガス漏えいが発生した事象を踏まえ、類似の事象によるガス漏えいを防止するため、当協会に対し周知徹底を依頼されたものです。

つきましては、都道府県協会におかれましては会員に対し、また直接会員におかれましては営業所等に対し、キャビネット内部のガス栓からの漏えいなどが発生しないように、ご周知くださいますようお願いいたします。

以 上

発信手段：Eメール
保安部：内倉、渡辺、片岡

別添

経済産業省

平成28年12月22日

一般社団法人全国LPガス協会
会長 北嶋 一郎 殿

経済産業省大臣官房審議官(産業保安担当) 福島 洋



東京瓦斯㈱による「空気抜き孔付き機器接続ガス栓」の自主交換に伴う
ガス漏えい事象の再発防止について (注意喚起)

東京瓦斯㈱が、平成3年9月から平成16年1月までの間に設置したビルトインコンロに接続する引き出し型キャビネット内部の「空気抜き孔付き機器接続ガス栓」について、本年11月、空気抜き孔のビスが抜け落ち、微少なガス漏えいが発生した事象を踏まえ、今後とも当該ビスが抜け落ちる可能性は否定できないことから、当該ガス栓を空気抜き孔のないガス栓へと自主交換を実施していく旨、本日、同社からプレス発表が行われました。

本件は、ガス工作物の安全確保上、今後、東京瓦斯㈱における適切な対応が求められる問題であると考えられます。

つきましては、貴協会会員事業者に対し、東京瓦斯㈱の自主交換に関する注意喚起を行い、類似のガス漏えい事象の再発防止について遺漏がないよう周知徹底をお願いします。

(御参考)

1. 経済産業省によるプレスリリース (別紙1)
2. 東京瓦斯株式会社によるプレスリリース (別紙2)



平成 28 年 12 月 22 日

東京ガス株式会社が設置した 空気抜き孔付き機器接続ガス栓の交換が行われます

東京ガス株式会社がビルトインコンロ下部の引き出し型キャビネット内部に設置した空気抜き孔付き機器接続ガス栓より、微量のガスが漏えいし、着火する事象が発生しました(人身及び物損の被害無し)。

東京ガス株式会社では、当該事象の再発防止を図るため、本日、同社ホームページにおいて、当該ガス栓が設置されている引き出し型キャビネットタイプのシステムキッチンを使用されている需要家(約45万件)に対して、安全周知を徹底するとともに、順次訪問の上、空気抜き孔の無いガス栓への交換を行うことを公表しました。

経済産業省では、東京ガス株式会社に対し、①当該ガス栓使用者に向けて使用上の注意事項を早急に周知すること、②可能な限り早くガス栓交換を完了するよう指示しました。また、一般社団法人日本ガス協会を通じ、会員の事業者に対し、同様の事象を防止すべく注意喚起するとともに、東京ガス株式会社と同じ型式のガス栓が設置されていた場合の対処方針についてすみやかに報告するよう指示しました。

1. 事象の概要

平成 28 年 11 月 23 日(水)に東京都内の一般住宅において、ビルトインコンロ下部の引き出し型キャビネット内部で微量のガスが漏えいし、着火する事象が発生しました(人身及び物損の被害無し)。

当該事象の原因について、東京ガス株式会社は、需要家宅の引き出し型キャビネット内の収納物が繰り返しガス栓に当たることにより開閉つまみが半開状態に至り、ビスが外れたことでガスが漏えいしたものと推定しています。

ビスは、取付け作業時に締め付ける強さにばらつきが生じること及び取付け作業時までの保管状況等により接着剤の緩み防止の性能が低下するおそれがあること等が確認されておりますが、当該需要家宅のビスが緩んだ原因は不明です。

また、東京ガス株式会社は、平成 18 年 2 月 27 日に「空気抜き孔付き機器接続ガス栓のご使用に関するお願いと自主的な確認作業の実施について」、同年 4 月 21 日に『「空気抜き孔付き機器接続ガス栓」のご使用に関するお願いならびに自主的な確認作業を実施する対象範囲の追加について』及び平成 23 年 12 月 26 日に『「空気抜き孔付き機器接続ガス栓」のご使用に関するお願いと対策の実施について』を公表し、必要な対応を講じてきてきましたが、今回の事象を受けて、空気抜き孔付き機器接続ガス栓が設置されている引き出し型キャビネットタイプのシステムキッチンを使用されている需要家を対象に空気抜き孔の無いガス栓への交換を行うこととしました。

2. 交換対象のガス栓

(1)対象となる需要家の概要

平成3年9月から平成16年1月までにキャビネット内部に「空気抜き孔付き機器接続ガス栓」が設置され、「引き出し型キャビネットタイプ」のシステムキッチンを使用している需要家(約45万件)。

(2)対象となるガス栓の外観



ビス

3. 事業者の対応

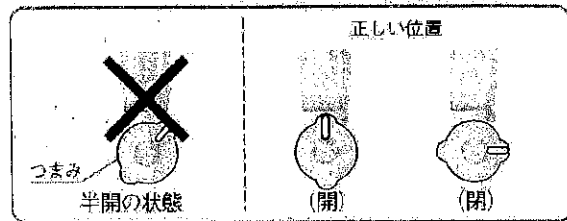
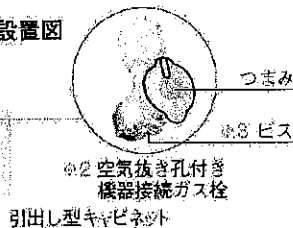
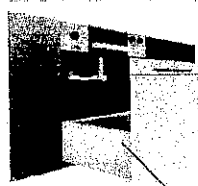
プレスリリースの上、対象となる需要家に対して、「ご使用上の注意のお願いに関するダイレクトメール」を発送すること等で安全周知を徹底し、順次訪問の上、「空気抜き孔の無いガス栓への交換」を行います。

4. 需要家への注意喚起

システムキッチンのキャビネット内等に設置された「空気抜き孔付き機器接続ガス栓」のビスが万が一、外れている場合、ガス栓の開閉つまみが半開の状態では、ガス漏れが発生する恐れがあります。

- (1) キャビネット内部のガス栓のつまみの位置が正しい位置(開または閉)になっていることを確認して下さい。ガス栓が半開の状態の場合は、正しい位置(開または閉)に戻してください。

機器接続ガス栓の設置図



- (2) ガスコンロ下の「引き出し型キャビネット」を開閉する場合は、鍋などの収納物がガス栓に当たらないようご注意ください。

- (3) 空気抜き孔のビスをご覧いただくか、指でさわっていただき、ビスが外れていないことを確認してください。万が一、ビスが外れている場合は、下記のフリーダイヤルまでご連絡ください。

■ビス取付位置



ビス

■ビスが正常に取り付いている状態



（丸印に印がはいってほしい）

■ビスが外れている状態



必ずご連絡ください

- (4) 機器のご使用に際して、ガスの臭気を感じた場合には、すぐに機器の使用を停止し、ガスの元栓を閉め、窓開けによる換気をするとともに弊社までご連絡くださいますようお願いいたします。

<出典:東京ガス公表資料>

5. 交換対象のガス栓に関する問い合わせ先

<連絡先>

東京ガス株式会社
フリーダイヤル 0120-526-900

<受付開始日>

平成28年12月22日(木)

<受付時間>

平成29年2月28日(火)まで 月～土曜日 9時～19時
日曜日・祝日・12/31～1/3 9時～17時
平成29年3月1日(水)以降 9～19時 ※土曜日は17時まで
(日曜日・祝日・12/29/～1/4は除く)

(本発表資料のお問い合わせ先)

商務流通保安グループ ガス安全室長 田村
担当者: 齋藤、伊藤

電話: 03-3501-1511 (内線 4932)

03-3501-4032 (直通)

FAX: 03-3501-1856

2016年12月22日

「空気抜き孔付き機器接続ガス栓」※1のご使用に関する
注意のお願いと自主的な交換作業の実施について

東京ガス株式会社

東京ガス株式会社は、1991年9月から2004年1月まで、一部のお客さまのガスコンロ下のキャビネット内部に「空気抜き孔付き機器接続ガス栓」を設置していましたが、本年11月23日に、東京都のお客さま宅において、「引出し型キャビネット」内部で微量のガスが漏れ、一時的に小火が着く事象が発生しました。弊社で確認したところ「引出し型キャビネット」内に設置された「空気抜き孔付き機器接続ガス栓」のビスが外れたことに加え、ガス栓の開閉つまみが半開状態になったことによりガスが漏えいしたことが判明しました。このため、対象となるお客さまにご使用上の注意のお願いをするとともに、「空気抜き孔」の無いガス栓に交換する作業を自主的に実施することといたしました。なお、火はすぐに消えたため人身ならびに物損の被害は無く、消防からは火災と認定されておりません。

弊社では、2006年2月27日※2ならびに同年4月21日※3に「『空気抜き孔付き機器接続ガス栓』のご使用に関するお願いと自主的な確認作業の実施」について公表し、対象となる同ガス栓を設置したお客さまへの点検作業を行ってまいりました。その後、2011年12月26日※4に「『空気抜き孔付き機器接続ガス栓』のご使用に関するお願いと対策の実施」について公表し、「引出し型キャビネット」内に設置された同ガス栓の空気抜き孔のビスを取り外しができないタイプに取り替える追加の対策を実施しており、当該のお客さま宅も2012年8月に同様の対策を行ってまいりました。

追加の対策においては、ネジ山に緩みを防止する接着剤を塗布したビスの軸をネジ穴に締め込んだのちビスの頭の一部を切ることで、ドライバ等でビスを外すことができない状態にしてまいりました。また、キャビネット内の収納物がガス栓に当たる状態で、何度も開閉が繰り返されてもビスが緩まないことを確認してまいりました。

このたび調査したところ、明確な原因については不明ですが、ビスを締め付ける強さにバラツキが生じることや、保管状況等により接着剤の緩み防止の性能が低下する恐れがあること等が判明しております。

弊社といたしましては、今後もお客さまに安全に安心してガスをご使用いただくため、対象のお客さまに対して、ご使用上の注意のお願いに関するダイレクトメールを発送するとともに、順次、訪問のうえ、「空気抜き孔」の無いガス栓に交換する作業を行います。

お客さまにおかれましては、度重ね、ご使用に際し、また交換作業等の実施にあたり、大変ご迷惑をおかけいたします。何卒、ご理解のうえ、ご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

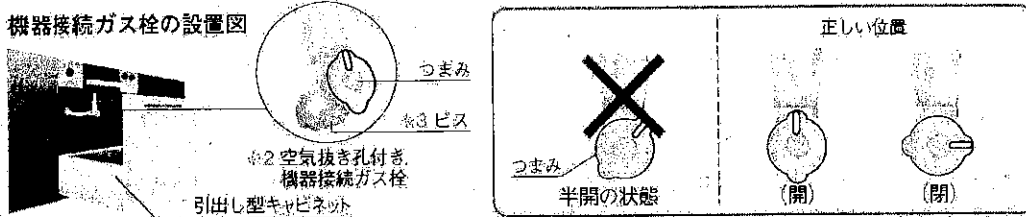
- ※1・・・ガス機器とガス管を直接接続する際に使用するガス栓で、ガス工事終了時、ガス管内部に残った空気を取り除くことができる空気抜き孔が備えられているものです。キッチンに組み込むタイプのガスコンロに接続する場合は、ガスコンロ下部のキャビネット内部に設置します。なお、弊社では1991年9月から2004年1月まで設置してまいりました。
- ※2・・・2006年2月27日公表名「空気抜き孔付き機器接続ガス栓のご使用に関するお願いと自主的な確認作業の実施について」
- ※3・・・2006年4月21日公表名「空気抜き孔付き機器接続ガス栓のご使用に関するお願いならびに自主的な確認作業を実施する対象範囲の追加について」
- ※4・・・2011年12月26日公表名「空気抜き孔付き機器接続ガス栓のご使用に関するお願いと対策の実施について」

＜お客さまへのご使用上の注意に関するお願い＞

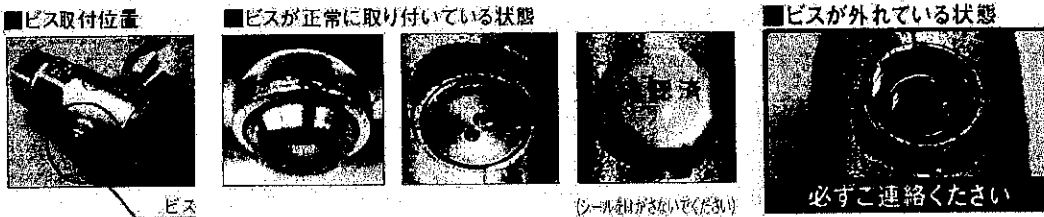
システムキッチンのキャビネット内等に設置された「空気抜き孔付き機器接続ガス栓」のビスが万が一、外れている場合、ガス栓の開閉つまみが半開の状態では、ガス漏れが発生する恐れがあります。

- (1) キャビネット内部のガス栓のつまみの位置が正しい位置（開または閉）になっていることを確認して下さい。ガス栓が半開の状態の場合は、正しい位置（開または閉）に戻してください。

機器接続ガス栓の設置図



- (2) ガスコンロ下の「引出し型キャビネット」を開閉する場合は、鍋などの収納物がガス栓に当たらないようご使用ください。
- (3) 空気抜き孔のビスをご覧いただき、指でさわっていただき、ビスが外れていないことを確認してください。万が一、ビスが外れている場合は、下記のフリーダイヤルまでご連絡ください。



- (4) 機器のご使用に際して、ガスの臭気を感じた場合には、すぐに機器の使用を停止し、ガスの元栓を閉め、窓開けによる換気をするとともに弊社までご連絡くださいますようお願いいたします。

記

1. 対象のお客さま件数

(1) 対象のお客さま

1991年9月から2004年1月までに、キャビネット内部に「空気抜き孔付き機器接続ガス栓」が設置され、「引出し型キャビネットタイプ」のシステムキッチンをご使用のお客さま

(2) 対象件数

約45万件

2. 対策の内容について

(1) お客さまへのお知らせ

対象のお客さまにはご使用上の注意のお願いに関するダイレクトメールを送付いたします。また弊社ホームページ<<http://www.tokyo-gas.co.jp/>>ならびにフェイスブックにも掲載します。

(2) ガス栓の交換作業の実施について

準備が整い次第、対象となるお客さまについて、順次、訪問のうえ、「空気抜き孔」の無いガス栓に交換する作業を実施いたします。

3. お客さまのお問い合わせ先

①フリーダイヤル 0120-526-900

②受付開始日 2016年12月22日(木)

③受付時間 2017年2月28日(火)まで 月～土曜日 9時～19時
日曜日・祝日・12/31～1/3 9時～17時
2017年3月1日(水)以降 9～19時 ※土曜日は17時まで
(日曜日・祝日・12/29～1/4は除く)